

平安時代に思いを馳せ、 桜舞う覚円坊を訪ねる

木曾の観音様として古くから親しまれてきた覚円坊は、平安時代中期から後期にかけての公卿藤原頼通の子「覚円」ゆかりの地。梅から桜へ、山から都へと桜の移植がブームになった平安時代に思いを馳せ、桜を愛でにでかけませんか。



2024年4月4日(木)

町田バスセンター14番バス乗場 9時集合

参加費: 1,000円(ガイド・資料・保険代含む)

※バス代は各自負担

※昼食はつきません

※キャンセル料 前日・当日 500円

定員: 15名(最小催行人数 10名)

【当日のコース】

- ✿ バスセンターからバスに乗車し木曾バス停下車
- ✿ 一本松
- ✿ 伝重寺
- ✿ 覚円坊
- ✿ 淡島神社
- ✿ 忠生遺跡
- ✿ 箭柄八幡宮 12時30分解散予定

申込方法

町田市観光コンベンション協会ホームページ「町田市観光ガイド」内「まちだふらっと」からお申し込みください。

WEBでのお申し込みが難しい場合は、下記へお問合せください。

まちの案内所 町田ツーリストギャラリー TEL042-850-9311

主催

一般社団法人町田市観光コンベンション協会

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-10-20 ぽっぽ町田 B1F

TEL042-724-1951 FAX042-724-1952 E-mail info@machida-guide.or.jp

ちょこっと豆知識 平安時代

平安時代とは桓武天皇が平安京に都を移してから鎌倉幕府ができるまでの約390年間続いた雅な時代です。それまでの大陸から影響を受けていた時代とは違い、日本独自の文化が重要視され国風文化が発展、カタカナやひらがなが生まれ紫式部の「源氏物語」や清少納言の「枕草子」もこの時代に完成しています。

木曾の観音様として親しまれた覚円坊ゆかりの覚円もNHK大河ドラマに登場する藤原道長を祖父に、公卿であり、歌人でもある藤原頼通を父に持ちこの時代を生きたひとりです。



覚円坊

